

1 次の問いに答えなさい。

1 次の(1)~(4)の文中の傍線を付けた漢字の読み方を書きなさい。また、(5)~(8)の文中の傍線を付けたカタカナを漢字になおし、解答欄の枠内に書きなさい。ただし、漢字は楷書で、大きくていねいに書くこと。

- (1) 新しい生活に慣れる。
- (2) 問題を速やかに解決する。
- (3) 美術館で絵画を鑑賞する。
- (4) 状況を正確に把握する。
- (5) 桜の苗木をウえる。
- (6) 使い終わった食器をアラう。
- (7) 時計のデンチを交換する。
- (8) 世界遺産にトウロクされる。

2 次の文中の傍線を付けたことが修飾している部分をあとから一つ選び、記号を○で囲みなさい。

昨日、私は放課後に図書館で本を借りた。

- ア 図書館で
- イ 本を
- ウ 借りた

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

私の生物多様性の発見は、小学校三年生のときに参加した、ある探鳥会がきっかけだ。近所の公園で探鳥会が開かれるという新聞広告を見つけた父が、私を連れて行ってくれたのだ。私は、子どもの頃から生物が大好きだった。虫捕りや魚釣りのほか、両生類に爬虫類、草花の採集、化石掘りなどして、とにかくなんでも集めてきてはそれを飼ったり、標本にしたりと楽しんでた。さて探鳥会では、案内役の専門家の先生がいて、その人は、ちよっとと鳥の影や鳴き声でも敏感に気づき、すぐに鳥を見つけて、私に望遠鏡で見せてくれた。そうして、一つひとつ鳥の名前を覚えてくれる。私は、ノートに鳥の名前を書いていった。すぐに一〇も二〇もの鳥の名前が並ぶ。スズメやカラス以外にも鳥がいるであろうことは知っていたが、一度にこれほどまでに見られるのかと感心したし、ノートが鳥の名前で埋まっていくことがとてもうれしく思えた。

そうこうしているうちに、

「ボールリ、ビー、チチー」
と、大きくて、澄んだ声が出たかと思うと、一羽の小鳥が私たちの頭上をサーッと飛んで、高い木の枝先に止まった。周りの大人たちがどよめく様子から、何となくだものではない鳥の出現という予感があった。先生の望遠鏡をのぞかせてもらうと、そこには、これまでになかった見ることがない種類の鳥が映っていた。背中が、輝くような濃くて深い青色をしていて、反対にお腹は真っ白な鳥だった。しかも、望遠鏡越しに目と目があって、私ははっと息を飲んだ。その鳥はオオルリだと、先生が教えてくれた。夏に来る渡り鳥で、この公園では数年ぶりに現れた珍禽だということも聞いた。

私はそのとき、これは、大変なことになったと思った。自分の身の回りですら、こんな意外なほど美しい鳥がいるならば、世の中にはものすごい生物たちが満ちあふれているに違いない。そう、直感したのだ。驚きをもって生物多様性を発見した瞬間だった。それまでも、色や形の変った珍しい鳥やケモノは、図鑑や動物園で見っていた。けれども、それは、どこか遠い大陸や南国の島の生物たちで、自分の住む世界とはかけ離れたものと考えていたように思う。オオルリだって、知らなかったわけではない。しかし、この鳥を目の当たりにした経験から、私は絶大な影響を受けた。「自分の家の周りに住む生物は、だいたいこんなものだろう」と見当をつけていたものさしが、まったく通用しないことに気づいたのだ。

それから、私はすっかり鳥たちの多様性に魅了され、そのことで多くのことを学んだ。なんでもないと考えていたスズメでも、③ こと や、④ こと、⑤ ことなどだ。

これらは今日では、順番に遺伝子の多様性、種の多様性、生態系の多様性と呼ばれている。それぞれに重要で、守るべきものであるといわれているが、その当時の私にとっては、むしろ、おもしろくて、すばらしいと思う方が先で、そのことがずっと大切なのだった。

(神松幸弘「オオルリの青」による)
昭和堂

1 本文中のA~Cの——を付けた語のうち、一つだけ他と品詞の異なるものがある。その記号を○で囲みなさい。

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

の 掲
へ の て
者らでえ
権か点控す
作慮時をま
著配現載り

1 □ とあるが、次のうち、□ が大いに腹をたてた理由として本文中で述べられているものはどれか。最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 身に覚えがないことを言われたと思ったから。
- イ 基盤を貸してほしいと依頼したが断られたから。
- ウ 手紙を送ったのに返事が送られてこなかったから。

2 □ を現代かなづかいになおして、すべてひらがなで書きなさい。

3 次のうち、本文中で述べられていることがらと内容の合うものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 手紙を受け取った人は、「こぼん」を「こぼん」と書き間違えられていることに気がつかなかった。
- イ 手紙を受け取った人は、「こぼん」と書かれている所に濁点を付けたし、「こぼん」とした。
- ウ 手紙を受け取った人は、「こぼん」と書かれていたのを「こぼん」と読み間違えた。

1 次の問いに答えなさい。

1 次の(1)~(4)の文中の傍線を付けた漢字の読み方を書きなさい。また、(5)~(8)の文中の傍線を付けたカタカナを漢字になおし、解答欄の枠内に書きなさい。ただし、漢字は楷書で、大きくていねいに書くこと。

- (1) 新しい生活に慣れる。
- (2) 問題を速やかに解決する。
- (3) 美術館で絵画を鑑賞する。
- (4) 状況を正確に把握する。
- (5) 桜の苗木をウえる。
- (6) 使い終わった食器をアラう。
- (7) 時計のデンチを交換する。
- (8) 世界遺産にトウロクされる。

2 次の文中の傍線を付けたことが修飾している部分をあとから一つ選び、記号を○で囲みなさい。

昨日、私は放課後に図書館で本を借りた。

- ア 図書館で
- イ 本を
- ウ 借りた

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

私の生物多様性の発見は、小学校三年生のときに参加した、ある探鳥会がきっかけだ。近所の公園で探鳥会が開かれるという新聞広告を見つけた父が、私を連れて行ってくれたのだ。私は、子どもの頃から生物が大好きだった。虫捕りや魚釣りのほか、両生類に爬虫類、草花の採集、化石掘りなどして、とにかくなんでも集めてきてはそれを飼ったり、標本にしたりと楽しんでた。さて探鳥会では、案内役の専門家の先生がいて、その人は、ちよっとと鳥の影や鳴き声でも敏感に気づき、すぐに鳥を見つけて、私に望遠鏡で見せてくれた。そうして、一つひとつ鳥の名前を覚えてくれる。私は、ノートに鳥の名前を書いていった。すぐに一〇も二〇もの鳥の名前が並ぶ。スズメやカラス以外にも鳥がいるであろうことは知っていたが、一度にこれほどまでに見られるのかと感心したし、ノートが鳥の名前で埋まっていくことがとてもうれしく思えた。

2 見せてくれたとあるが、次のうち、この動作を行っているものはどれか。最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 専門家の先生
- イ 鳥
- ウ 私(筆者)

3 ②とよめくとあるが、次のうち、このことばの本文中での意味として最も適しているものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア てきばきと動く
- イ びわびわと騒ぐ
- ウ ひそひそと話す

4 次の(1)~(iii)は、それぞれ本文中の③、④、⑤のいずれかに入る。③、④、⑤に入れることばの組み合わせとして最も適しているものを、あとのア~カから一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- (i) 街や森、あるいは海や山へと違うところへ行けば、それぞれぜんぜん違った鳥の仲間たちに出会える
 - (ii) スズメには家のそばにいる普通のスズメと森に住むニューナイスズメという別の種がいる
 - (iii) 一匹ずつ模様が微妙に違って、なかには非常に個性的な個体もいる
- ア ③ (i) ④ (ii) ⑤ (iii)
 - イ ③ (i) ④ (iii) ⑤ (ii)
 - ウ ③ (ii) ④ (i) ⑤ (iii)
 - エ ③ (ii) ④ (iii) ⑤ (i)
 - オ ③ (iii) ④ (i) ⑤ (ii)
 - カ ③ (iii) ④ (ii) ⑤ (i)

5 驚きをもって生物多様性を発見した瞬間だったとあるが、筆者が生物多様性を発見した瞬間について、本文中で述べられている内容を次のようにまとめた。[a]に入る内容を、本文中のことばを使って十字以上、十五字以内で書きなさい。また、[b]に入れるのに最も適しているひとつづきのことばを、本文中から二十二字で抜き出し、初めの五字を書きなさい。

近所の公園で開かれた探鳥会で、a 経験から、b はずだと直感した。

四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

リハールで指揮者が自分のイメージする音楽をオーケストラに伝えるとき、指揮者と演奏者の「共通言語」になるのが楽譜だ。楽譜は演奏者とのコミュニケーションを図る最大の手段となる。

指揮者はオーケストラの中で唯一、音を鳴らさない音楽家だ。そんな指揮者の指揮に応えて、奏者が弓を動かしたり、息を送ったり、ものを叩いたり、声を出したりする。それによって空気が振動して、人の鼓膜を震わせ、人の心を揺るがせる。感動が生まれる。

つまり音楽は、言ってみれば、記号でしかない楽譜を、具体的な空気の振動に変えることで、人々に感動を与えることができる芸術である。

①では、指揮者はどんなふうに楽譜を読み解いていくのか。

交響曲のスコアであれば、楽器とパートの種類が多いので、一ページに五線譜が三〇段以上あることもめずらしくない。人間の耳は通常、四種類を超えて異なる音が同時に鳴ると、個別に判断できなくなるという。

三〇段をバツと見たときに、三つか四つのグループに見えるよう整理して頭の中で音を鳴らす。しかし、実際にオーケストラで音を鳴らすまで、あくまでそれは頭の中の想像に過ぎない。

これは基本中の基本で、問題はそこから先の、譜面の解説を深めていく作業にある。複雑に構成された音符や記号を読み解いて、作曲家が楽譜を通して表現したかったものは何なのかを探っていく。

つまり指揮者の第一の役割とは、譜面と向き合って、そこに作曲家が残した「暗号」を読み解いて、作曲家が意図した音のイメージに近づくことである。発見すべきことは山ほどあるし、誰にもまだ発見されていないものもある。作曲家も気づいていなかった新しい音の効果や聴き手の受け止め方を求めて、指揮者は譜面に向かう。

一度の指揮で見つけられなくても、回を重ねるたびに新しい発見が得られることがある。大事な出会いを得たり、大切な人を失ったり、歳を重ねて経験を積み、心の引き出しが増えたとき、速くにあった音楽が、ふっと猫のようにそばに寄ってきてくれることもある。

楽譜は建築でいえば設計図のようなものだ。優れた作曲家は、具体的な建物やどんな天候の中で、どんな場所に建ち、どういう人たちが、何を目的にその建物を使うのか。そういうところまで考えて、楽譜という設計図に自分の音のイメージを表現している。

四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

リハールで指揮者が自分のイメージする音楽をオーケストラに伝えるとき、指揮者と演奏者の「共通言語」になるのが楽譜だ。楽譜は演奏者とのコミュニケーションを図る最大の手段となる。

指揮者はオーケストラの中で唯一、音を鳴らさない音楽家だ。そんな指揮者の指揮に応えて、奏者が弓を動かしたり、息を送ったり、ものを叩いたり、声を出したりする。それによって空気が振動して、人の鼓膜を震わせ、人の心を揺るがせる。感動が生まれる。

つまり音楽は、言ってみれば、記号でしかない楽譜を、具体的な空気の振動に変えることで、人々に感動を与えることができる芸術である。

①では、指揮者はどんなふうに楽譜を読み解いていくのか。

交響曲のスコアであれば、楽器とパートの種類が多いので、一ページに五線譜が三〇段以上あることもめずらしくない。人間の耳は通常、四種類を超えて異なる音が同時に鳴ると、個別に判断できなくなるという。

三〇段をバツと見たときに、三つか四つのグループに見えるよう整理して頭の中で音を鳴らす。しかし、実際にオーケストラで音を鳴らすまで、あくまでそれは頭の中の想像に過ぎない。

これは基本中の基本で、問題はそこから先の、譜面の解説を深めていく作業にある。複雑に構成された音符や記号を読み解いて、作曲家が楽譜を通して表現したかったものは何なのかを探っていく。

つまり指揮者の第一の役割とは、譜面と向き合って、そこに作曲家が残した「暗号」を読み解いて、作曲家が意図した音のイメージに近づくことである。発見すべきことは山ほどあるし、誰にもまだ発見されていないものもある。作曲家も気づいていなかった新しい音の効果や聴き手の受け止め方を求めて、指揮者は譜面に向かう。

一度の指揮で見つけられなくても、回を重ねるたびに新しい発見が得られることがある。大事な出会いを得たり、大切な人を失ったり、歳を重ねて経験を積み、心の引き出しが増えたとき、速くにあった音楽が、ふっと猫のようにそばに寄ってきてくれることもある。

楽譜は建築でいえば設計図のようなものだ。優れた作曲家は、具体的な建物やどんな天候の中で、どんな場所に建ち、どういう人たちが、何を目的にその建物を使うのか。そういうところまで考えて、楽譜という設計図に自分の音のイメージを表現している。

3 考えてみれば、不思議なことだとあるが、本文中で筆者は、どのようなことを不思議なことだと述べているか。次のうち、最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 音楽と建築は異なる分野のものだが、どちらもつくり上げる工程の中で共通する点が多くあるということ。

イ 有名な作曲家によってつくられた楽譜そのものが、つくられた時の状態を保ったまま、現存しているということ。

ウ 単純な和音や異なる調性の重なりによって、人間の生命力や現代社会の混沌が、作品の中に表現されているということ。

エ 見知らぬ土地で、昔につくられた作品であっても、同じ譜面を手に入れば、現代のドイツでも日本でも同じ演奏ができるということ。

4 Aさんたちは本文の内容をまとめて、授業で発表することになり、「指揮者と楽譜」について話し合いました。次は、発表に向けてAさんたちが行った【話し合いの一部】です。

【話し合いの一部】

Aさん 「指揮者と楽譜」について発表をするために、まずは指揮者にとって楽譜はどのようなものなのかを本文をもとにまとめようか。

Bさん 本文では、指揮者の役割として、譜面と向き合い、作曲家が残した「暗号」を読み解くことが挙げられているね。この「暗号」は複雑に構成された音符や記号のことを表しているよね。

Cさん そうだね。指揮者は、その「暗号」を読み解くことにより、楽譜を通して ということを探り、作曲家が意図した音のイメージにどう近づいていくかを考えるわけだね。

Aさん つまり、指揮者にとって楽譜は、作曲家が意図した音のイメージに近づくために必要不可欠なものだといえるね。ほかに本文中で述べられていることはあるかな？

Cさん 楽譜は指揮者と演奏者の「共通言語」だということも本文中で述べられているよ。これは、指揮者は楽譜を使って ということだよ。

Bさん そう思うよ。指揮者がイメージする音楽を実際の音で鳴らすには、オーケストラにそのイメージを伝えることが必要だからね。

Cさん なるほど。楽譜は、作曲家が意図した音のイメージに近づくためにも、指揮者がイメージする音楽を形にするために必要なんだね。そうだね。これまでの話し合いから、楽譜は「指揮者と作曲家をつなぐもの」でもあり、指揮者と演奏者をつなぐものでもあるといえるね。この内容をもとに、どのように発表するかを考えようか。
(以下、話し合いは続く)

指揮者はその設計図を見て、作曲家のつくり上げた建築物を想像し、それを建てるためにどういった職人()と、どういった材料(音)が必要で、どの職人と職人がどういった力や合わせれば、優れた建築物が建てられるかを考える。

③考えてみれば、不思議なことだ。見知らぬ土地で、しかも二百年も三百年も前につくられた作品が、同じ譜面を手に入さえすれば、現代のドイツでも日本でも同じ演奏ができるのだから。指揮者は、楽譜という記号を使っていたん 冷凍保存 された音楽を、生き生きと今の時代に再現しようと、全身全霊で想像を巡らせる。

作曲家はその音の風景に何を求めたのか。最も単純な和音に人間の生命力を見出したのか。あるいは異なる調性の重なりで現代社会の混沌を表そうとしたのか。

そこからは推理ゲームのように、その作曲家特有の感覚とイメージから音楽に込めたメッセージを探り当てていくのである。(佐渡裕「棒を振る人生」による)

(注) 交響曲＝管弦楽のための大規模な楽曲。

スコア＝合奏曲などのすべてのパートをまとめて記した楽譜。

1 ①ではあるが、次のうち、このことばの本文中ではたらきを説明したものととして最も適しているものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 前に述べた内容をふまえた新たな話題を後に述べることを示している。

イ 前に述べた内容から予想される結果を後に述べることを示している。

ウ 前に述べた内容の原因となる事実を後に述べることを示している。

エ 前に述べた内容とは反対の内容を後に述べることを示している。

2 次のうち、本文中の に入れるのに最も適していることばはどれか。

ア 指揮者

イ 演奏者

ウ 作曲家

エ 聴き手

(1) 【話し合いの一部】中の に入る内容を、本文中のことばを使って十五字以上、二十字以内で書きなさい。また に入れるのに最も適しているひょうつづきのことばを、本文中から十七字で抜き出し、初めの五字を書きなさい。

(2) 【話し合いの一部】中において、話し合いを効果的に進めるためにAさんが行ったことを説明したものととして、適切でないものを次から一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 話し合った内容をふまえた上で、次の進め方を提案している。

イ 自分と他者の意見の相違点を述べ、話し合いを活発にしている。

ウ 話し合う目的を示し、話し合う内容が明確になるようにしている。

エ 話し合いで出た意見の内容を整理しながら、話し合いを進めている。

五 あなたは、生徒会の活動で、教室を清潔に保つことを全校生徒に呼びかける張り紙を作ることになり、その張り紙にどのようなことばを書くかを話し合いました。次のA、B、Cは、話し合った結果、張り紙に書くことばとして出た案です。あなたは、どのことばが最も効果的に伝わると考えますか。あとの条件1～3にしたがって、あなたの考えを別の原稿用紙に書きなさい。

A 教室もあなたの心も美しく

B いつもいてねいに掃除をしよう

C きれいに使ってくれてありがとう

条件1 A、B、Cの三つのことばから一つを選ぶこと。

条件2 条件1で選んだことばが、最も効果的に伝わると考える理由を書くこと。

条件3 百八十字以内で書くこと。
※ 三つのことばをそれぞれA、B、Cと表してもよい。

受験 番号	番
----------	---

得点	
----	--

〈問題五を除く〉

二					
5		4	3	2	1
b	a		ア	ア	ア
			イ		A
			ウ	イ	B
15	10		エ		
経験から、			オ	ウ	C
			カ		

23	4	6	4	4	3	2	採点者記入欄

一								
2	1							
	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
ア					把	絵		
イ	トウ	デン	アラ	ウ			速	慣
ウ	ロク	チ	う	える	握	画	やかに	れる

18	2	2	2	2	2	2	2	2	2	採点者記入欄

四					
4		3	2	1	
(2)	(1)		ア	ア	ア
	b	a			
ア				イ	イ
イ	20			ウ	ウ
ウ	15			エ	エ
エ	ということを				

25	4	4	6	4	4	3	採点者記入欄

三		
3	2	1
ア		ア
イ		イ
ウ		ウ

12	4	4	4	採点者記入欄

